

こだまちえこの

宝探しはモーニングムーンに

No.39(完)

サヨナラのクリスマスローズ

クリスマスローズや、シクラメン・ポインセチアなどが、渴いた冷たい空気の中で美しく咲いて、人々の心をホッとさせてくれる。

師走に入ってから、同じ特急(南風)に乗って、南国土佐(といつても、高知市をはさんだ、西の四万十市と東の安芸市)へ、リテールサポート車の窓から、冬の「貴婦人」と呼ばれる「クリスマスローズ」が目飛び込んできた。

仕事の後、クライアントの方々(SCや商店街の組合スタッフ)と、2012年を振り返り、情報交換(実は…言いたい放題会?)や新年への抱負を語り合った。

「こういったご時世や市況、経済情勢ではねッ、ときには、ハメを外してドンチャン騒ぎって必要ねッ。ご支持を頂ける商いには、“遊び心”が、…サプリメントになると思うのー」と言い放しつつ、酔いも手伝って気がつけば仕事の話に戻っていた。

翌朝に、ホテルの9Fから眺めた海(太平洋)は、広く優しく癒やされた。

商工会議所の指導員(2人)と、最初に伺った店舗はお歳暮やクリスマスギフト、正月用品をお買い求めにいらしたお客さままでごった返していた。

そちらも、姫路の

「播産館」と同様、地域の名産品を展開している、かなり広いスペースの即売場(採りたての野菜や魚も並ぶ)。

さっそく、木工細工の「桶・樽」を積み重ねて、ウッディなツリーを仕上げてみた。

ギフト用品の専門店では、ランナーを活用し、藍色の陶器類をチョイスして正月用の「テーブルコーディネート」を終えると、皆が一斉にフラッシュをたいていた。

今年の「年の瀬」は、「播産館」のスタッフたちと、新しい年の「年神様(お客さま)」をお迎えするために、寒中で同じようなお手伝いをしてきた。

年末年始には、是非、「播産館」にお越しください。

きつと、貴方だけの「お宝グッズ」との出会い(愛)が待っているから…。

「じばさんコラム」は、今回で一休みだが、ご愛読いただいた沢山の皆さま、私からの感謝の気持ち、39回とクリスマスローズにあやかって、純な乙女のように「サンキュー(3・9)」ですね。…良いお年を！

それでは、いつか、また…。

～ 商いのエッセイスト
ドミニカント代表

